

入社・入学までに準備しておくこと

就職試験も終盤戦。進学試験も専門学校の試験がほぼ終わり、大学・短大の入試が始まっています。すでに多くの3年生が内定や合格をいただいています。これがゴールではありません。企業や上級学校で働いたり学んだりするためのスタートラインにつく資格を獲得できたということです。これからは、入社・入学後に役立てられるように、そのために必要なことを進路別にあげると……。将来のための本当の学びが必要になります。



○ 就職の場合

- ① **時間を守る** 仕事で信用されるための第一歩。
- ② **自ら学ぶ** 仕事に必要な知識、技能や社会人としての一般常識などを身に付けるため日々の勉強が必要。授業はないので自分から学ぶ姿勢が大事。
- ③ **健康管理** 体調を崩して休みをとると、他の人に迷惑をかけることも…「働きつづけられる体力」を維持することも大事。
- ④ **言葉遣い** 社会人になれば、みなさんの保護者よりも年上の方とも一緒に働くことになります。職場によっては「お客様」と接することもあります。当然、言葉遣いや挨拶にも気を配る必要があります。

○ 進学の場合

上級学校に入学した後に必要とされる力を身に付ける必要があります。

① さまざまな文献を読んでまとめる力

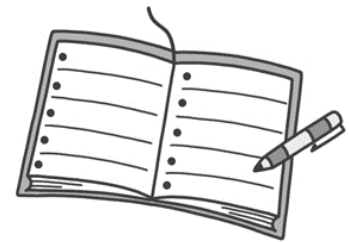
大学では英語の文献を読むこともあります。

② レポートを書くための文章力

提出したレポートで評価される科目もあります。

③ 講義に対応できる基礎学力

工業高校は、普通高校より普通教科の授業時数が少ないので、入試に無い科目も、入学後も困らないように学んでおく必要があります。また、高校生よりも大人として扱われるので、より自主的に勉強する姿勢が必要になります。



悪戦苦闘能力 ～実社会で必要とされる能力とは・・・～

皆さんは、それぞれの最終学歴となる学校を卒業後、約40年間におよぶ社会人としての人生を歩んでいかなければなりません。力強く生き抜くためには、「どのような力が必要なのか」、その力を身に付けるためには「どうしなければならないか」を早い段階で認識し、行動・実践していくことが大切です。どのような難問にぶつかってもへこたれず、粘り強く、あらゆる可能性を探っていくことが悪戦苦闘能力です。その能力を身に付けるために心掛けておく5つの項目を示します。

- ① 挨拶・・・挨拶はコミュニケーションのスタートラインであり、信頼ある人間関係をつくるためである。
- ② 体力・・・「疲れる」や「眠い」と言うのは食生活に原因がある。意欲・根性・勇気は食物こそ体力の源泉となる。
- ③ 感性・・・人の気持ちが分かる人。そのための体験学習で一番ためになるのは家の手伝いをする事。
- ④ 集中・・・想いや目標がなければひたむきさ(集中)は生まれない。全てはこうしたいとの想いからスタートする。
- ⑤ 思考・・・自分の考えを持つ。第一に本を読むこと。第二に人の話をメモしながら聴くこと。それらを自分の中で熟成させたとき、自分の考えになる。

進路実現に必要な習慣とは・・・

皆さんは将来の夢がありますか。今回は、イチロー選手の、あまりにも有名になった小学6年生時代の作文「僕の夢」を取り上げました。この小学生時代の夢が、その後のイチロー選手の野球人生の原点になったのではないかと思います。作文を読んで、考えてみましょう。

僕の夢

僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。
そのためには、中学、高校と全国大会に出て、活躍しなければなりません。
活躍できるようになるためには、練習が必要です。

僕は3才の時から練習を始めています。3才から7才までは半年くらいやっていたんですが、3年生の時から今までは、365日中、360日は激しい練習をやっています。

だから、1週間中で友達と遊べる時間は、5～6時間です。

そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。

そして、中学、高校と活躍して、高校を卒業してからプロに入団するつもりです。

そして、その球団は、中日ドラゴンズか西武ライオンズです。

ドラフト入団で、契約金は1億円以上が目標です。

僕が自信のあるのは、投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会NO1選手と確信でき、打撃では、県大会4試合のうち、ホームラン3本を打ちました。

そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。

このように、自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは、1年間負け知らずで、野球ができました。だから、この調子でこれからも頑張ります。

そして、僕が一流の選手なって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って、応援してもらうのも夢の一つです。

とにかく、一番大きな夢は、プロ野球の選手になることです。

愛知県西春日井郡 とよなり小学校 6年2組 鈴木一郎

イチロー選手の小学生時代の作文から、自ら夢を描くことの大切さ、そしてその夢を達成するためにサポートする側の存在の大切さを、改めて感じたのではないのでしょうか。また、自己の進路実現に繋げるためには、「**行動する力**」が必要となりますが、まず**数値を使った表現**で具体的に言葉化して「ビジョン」とし、さらにそれを達成するために小さな目標を積み重ねていくことが重要です。日常生活において、どのような習慣を持っているかが目標達成の鍵となります。

～目標達成できない悪習慣～

世の中には、目標を達成できる（良い習慣を身に付けている）人とできない（悪習慣から抜け出せない）人が存在します。今回は悪習慣として7つ紹介いたします。悪習慣の1つでも良い習慣に変えられたら、人生は好転していくはずです。特に目標を見失っている人は、自分自身を見つめ直してみましょう。

- ① 人のせいにする。
- ② 目標を持たないで始める。
- ③ 一番大切なことを後回しにする。
- ④ 「勝ち負け」という考え方を持つ。
- ⑤ 何かに取り組むのは面倒くさいと思う。
- ⑥ 「頼れるのは自分だけ」だと思う。
- ⑦ 自分が話すことが大切で、相手の話は聞くふりをする